



## 第51回卒業証書授与式

第51回卒業証書授与式を3月12日に挙行了いたしました。

富岡の風「3月号②」では、卒業式の中での「学校長式辞」「卒業生を送ることば」「別れのことば」について、要旨をお伝えするとともに、当日の様子分かる写真をお届けいたします。

## 【学校長式辞】(要旨)

皆さんがこの卒業の日を迎えられることができたのは、皆さん自身の努力であることは言うまでもありませんが、その努力を支え続けてくれた多くの人の存在があったことを深く心に刻み、今日はその人たちに改めて感謝の気持ちを言葉で伝えてほしいと思います。本日卒業を迎える青学年の皆さんとは、2年間の関わり合いでしたが、様々な思い出が浮かびます。全身全霊を注いだ体育祭。学級全員で取り組む大縄跳びは、グラウンドを踏む音が体に伝わり観る者にも緊張と一体感と達成感を感じることができました。WBC 決勝戦を体育館で観戦し皆で歓声をあげ喜びを分かち合ったこともありましたね。京都修学旅行では、班別自主行動を成功させ、宿にたどり着いた時のほっとした表情が印象的でした。夜、風呂当番を先生達と一緒にしていた際には、清水寺で買ったおみやげを見せてくれたり、進路の悩みを打ち明けてくれたりと、その時のマスク無しの満面の笑顔は、決して忘れられない思い出です。さて、卒業生の皆さんが生きていく時代は「予測困難な時代」だといわれています。グローバル化は多様性をもたらし、急速な情報化や技術革新は日常生活を大きく変化させています。加えて少子高齢化の進行、地球温暖化に伴う気候変動、台風や地震といった災害、感染症の流行など我々の想像を超える出来事が起きています。変化の激しい時代を生きる皆さんには、様々な課題解決に向けて、新たな視点や発想に基づく価値を創造し、自らの行動によって未来を切り拓く力が必要になってくるでしょう。AIが発展して、一見、便利な世の中がやっとなりともしっかりと自分の信念を持った生き方をしてほしいと思います。(中略)実は皆さんがことあるたびに三年間歌ってきた学年ソング「あとひとつ」の歌詞にも似たフレーズがあります。思い浮かべてみてください。「あとひとつの坂道を 一つだけの夜を超えられたなら 笑える日が来るって 今日信じているから 君もあきらめないでいて 何度でも この両手をあの空へのばして あの空へ」です。何度でも 両手をあの空へ伸ばして いい歌詞ですね。これからの人生においていろいろなことが起こるはずですが、どんなに苦しい時でも歯を食いしばって、この短編や歌詞にあるように頑張る生きて欲しいです。その姿はきっと誰かが見ていてくれます。

あきらめない気持ちを持ち続けていれば必ず皆さんの周りに支えてくれる仲間が集まります。どうかこれからの時代、世の中の中心となって活躍する皆さんだからこそ、坂を登り、あきらめないで 海がみえるまで 何度でも 挑戦する。そして 笑っていて 過ごして欲しいと願っています。卒業生の皆さん。いよいよ巣立ちの時です。中学校生活を共に過ごしてきた仲間はこれからも生きていく中でかけがえのない存在となるでしょう。これからもできる限り沢山の人の関係性を築きそのつながりを大切に、豊かな人生を送ることができるよう願って私の式辞といたします。



令和六年三月十二日 校長 岩松玲子



## 【別れの言葉】(要旨)

思い返せば三年前、私たちは今と同じように、この体育館に並んで座っていました。コロナ禍でマスクを着用しての入学式。マスクの下は強張った表情でした。今では、小さく感じるこの校舎も、当時の自分には迷いそうなほど大きく感じられました。どこを見渡しても知らない顔ばかりで、不安でいっぱいだったことを覚えています。

新型コロナウイルスで行動が制限された一、二年生。精神的にも不自由さや抑圧感、不安感の中で過ごさざるを得なかった二年間でした。それにもかかわらず、様々な制約の中でできる限りのことを、創意工夫しながら、互いに協力し、成し遂げることができました。また、その中で大きく成長することもできました。

(中略)

雨でスタートした三年次の修学旅行。雨の京都もとても素敵でした。北野天満宮では合格祈願をし、伏見稲荷大社や清水寺では、先人が築いたものを大切に、たやさないように守り続けてきたのだなど、感動しました。京都の坂道を上がったり下がったり曲がったりして自分たちが決めた目的地に向かい、楽しい散策でした。事前に綿密なプランを立ててはいたのに、雨の影響で遅れてしまい、みんなでホテルへダッシュしたこと。就寝時間を過ぎても先生に内緒で恋バナをしたこと。旅館のロビーで、クラスや男女関係なくカードゲームをしたこと。素晴らしい仲間と過ごしたことは一生の思い出になりました。

三年間で行った体育祭。大縄競技では得意な人が苦手な人を支え、クラスみんなで頑張ったことで、全クラスが最後まで跳びきることができました。担任の先生方のはっぴや色とりどりの工夫された衣装やメガホンでのかけ声にも心打たれました。三年生の体育祭は実行委員を中心に応援合戦を行うことができました。駆け抜ける旗は、これが青春だといわんばかりに爽快でした。

二年生の創夢祭では初めてハーモニーというものの難しさを感じ、精一杯練習をしました。練習中、クラスで仲間割れが起きてしまいましたが、今一度お互い本音で話し合いをしたことで、クラスの心が一つになり、本番では、最高の合唱となりました。三年生では、各クラスで何を目標に合唱をするかを話し合いました。賞を取ることで、最後まで一生懸命歌うことを目標に練習を重ねました。他のクラスの合唱を聴き、感極まって泣いてしまうくらいのクラスも素敵な歌声でした。

私たちの中学校生活には、何一つ無駄なことはなく、沢山の事を経験し挑んできました。忍耐を学び、負けない力で乗りきりました。沢山の絆で結ばれた私たちは、明るく笑いが絶えない、そしてとても力強い青学年代だと思っています。

学年目標である「パールブルー」。真珠の様に輝く青春を送ることができました。そして人生を重ねる中で、応援し支えてくださった方が沢山います。先生方、友達、その巡り合わせに感謝いたします。私たちを温かく見守り、熱心にご指導下さった先生方。校長先生から時折かけていただく言葉と笑顔は、日々の原動力となりました。どんな質問にもいつも丁寧に答えて下さった各教科の先生方。私たちが悩んだ時には、多くのアドバイスを下さった担任の先生。本当にありがとうございました。支えてくれた家族。私たちはいつの間にか成長し一人で解決していくことが増えました。将来悩んだ時、励ましの一言が、いつものお弁当が何よりの力になりました。

在校生の皆さん、頼りない私たちに、今日までついてきてくれてありがとう。今何が必要かを自分で考え、時には仲間や先生方と対話しながら正しいと思う道を歩んでください。さあ、明日からは皆さんが新しい富中のリーダーズです。

今この世界は絶望だと、盛んに言われており、いつ、どこで、何が起こるかわからない状況です。しかし、一人一人が抱えている絶望や不安や苦しみを希望にかえていくべきだと考えます。自分のものがたりをしっかりと持ち、最後まで、手放さずに前を向いていくことが大切だと思います。未来は希望にみちています。ここから私たちは、自分の足で前に進んでいかなければなりません。目の前に広がる希望という道。華々しく輝くその道をしっかりと踏みしめながら、自分の力を信じてこれからの人生を歩んでいきます。そして、この富中で学んだことを自らの糧として、どんなに辛いことがあっても最後まで諦めず、精一杯挑んでいきます。



富岡中学校がこれからも素晴らしい歴史を刻んでいかれますことをお祈り致します。感謝と名残は尽きませんが、この三年間で出会った全ての方々に、最大限の感謝と果てしない愛を込めて、別れの言葉といたします。

令和6年3月12日 卒業生代表

## 【卒業生を送る言葉】(要旨)

春風が心地よい、新たな始まりの季節がやってまいりました。3年生の皆様におかれましては、これまでの思い出を胸に、新たな未来への一步を踏み出す準備が整っていることと思います。この度はご卒業おめでとうございます。在校生を代表し、心よりお祝い申し上げます。



先輩方と初めて出会った2年前の入学式、期待と不安で胸がいっぱいだった私たちを、この富岡中学校へと迎え入れてくださった先輩方は、とてもとても輝いて見えました。委員会活動や行事で、右も左も分からなかった私たちに、一つひとつ丁寧にやり方を教えてくださったこと、下級生の私たちのつたない意見も積極的に取り入れてくださったことを今でもよく覚えています。未熟だった私たち後輩が、今、ここまで来ることが出来たのは、先輩方が進むべき道をしっかりと示してくれたおかげです。そんな頼もしくて、親切で、優しい先輩方は、私たち1・2年生の憧れでした。

全学年が優勝目指して熱く燃える体育祭、その中でも、3年生の先輩方が競技を行う時、全校は1番の盛り上がりを見せていました。クラス一丸となって、最後まで諦めず跳び続けていた大縄跳び、一生懸命走り続け、応援し続けるリレー、笑って、泣いて、爽やかな汗を流すその姿、その全てに私たち下級生は心を動かされ、自分たちも「3年生のようになりたい」「力を合わせて頑張りたい」と強く思いました。あの日見た晴れた空が、いつもよりいっそう青く見えたことは忘れません。

秋の創夢祭では合唱コンクールが開催されました。各学年がそれぞれの想いを歌に乗せ、パートリーダーや創夢祭実行委員を中心に精一杯練習して迎えた本番。1年生と2年生の合唱が終わった後、後輩の私たちは「3年生の先輩方の合唱が聴ける」と期待に胸を弾ませていました。その期待に応えるかのように、青学年の先輩方は最高の合唱を私たちに届けてくださいました。豊かな声量、美しいハーモニー、3年間の想いをのせた歌声、どのクラスの合唱も本当に感動しました。仲間を称え、涙を流す先輩たちの姿が目に焼き付いています。

(中略)

この3年間、色々な伝統を私たちに残してくださった3年生のみなさん、本音を言えば先輩方がいなくなってしまうのが寂しく、今もすごく悲しいです。しかし、富岡中学校の歴史は止まることなく、続いていきます。その歴史を私たち後輩は受け継ぎ、つくっていかねばいけません。何が「正解」か、今はまだ分かりません。それでも、自分たちなりの「正解」を探して進んでいこうと思います。先輩方と過ごした時間は一生の宝物です。思い出を胸に、これからは私たちが富岡中学校を今よりももっと素晴らしい場所にしていきます。最後になりますが、これからも先輩方がそれぞれの場所でご活躍されることを心からお祈りし、贈る言葉といたします。

令和6年3月12日 在校生代表



**横浜市立富岡中学校 令和6年度 主な行事（予定）**

4月 8日	始業式・着任式・入学式
9日	離任式
12日	授業参観・学級懇談会
18日	全国学力・学習状況調査
25日	横浜市学力・学習状況調査
5月29日	体育祭
6月13, 14日	前期中間試験
20日	生徒総会
7月9～12日	三者面談
20日	夏季休業（～8月26日）
9月 2日	総合防災訓練・地区別集会
5～6日	前期期末試験
18～20日	2年自然教室（長野県野沢温泉村）
25～27日	3年修学旅行（奈良・京都）
10月1日 or 2日	個別支援学級合同体育祭
10月 9日	授業参観・学級懇談会（1・2年）、学年懇談会【進路】（3年）
10月11日	前期最終日
10月15日	後期開始
21日	創夢祭（横須賀文化会館）
29～ 1日	3年三者面談（29・30・31・1日）
11月13～15日	中間試験（1, 2年は14、15日）
21 or 22日	2年職場体験
12月3～6日	三者面談
12日	生徒会役員選挙
26日	冬季休業（～1月6日）
1月31日	3年学年末試験
2月20～21日	1, 2年学年末試験
3月	卒業式
25日	修了式

※令和6年3月時点での予定です。

卒業式の日時は、公立高校入試の日程が決定した後に決まります。